



DIGNO<sup>®</sup> ケータイ KY-42C

DIGNO<sup>®</sup> ケータイ **カメラレス** KY-43C

# Device Control アプリ ご利用マニュアル



# 目次

## Device Control アプリとは

## 設定可能な機能制限

設定可能なポリシー一覧  
起動制限可能なアプリ一覧

## ご利用方法

従業員端末への機能制限設定までの流れ

1. 事前設定
  2. ポリシーの設定
  3. ポリシーの転送、受信 (他端末にも同じポリシーを適用する場合)
- サインインパスワードの変更  
ステータスの確認方法

## 機能制限中の端末動作

端末の機能制限中の動作  
アプリの起動制限中の動作

## 注意事項・FAQ (よくあるご質問)

## お問い合わせ先



※ポリシーとは、機能制限の一連の設定のことです。

# Device Control アプリとは



# Device Control アプリとは

Device Control アプリは、業務用モバイル端末の  
設定に最適なアプリです。

## 特長① 端末機能の利用を制限

電話帳登録外の発着信の制限や、Wi-Fi/Bluetoothの利用を制限するなど  
端末機能の利用を制限できます。

## 特長② 業務に不要なアプリの起動を制限

プリインストールされているアプリの起動を制限できます。

## 特長③ 端末のみで設定が完結

端末だけで設定でき、操作用PCなどの環境整備が不要です。

## 特長④ 設定を簡単に複製可能

1台を設定すれば、他の端末に1台ずつ、設定の複製が可能です。

ご利用に適している  
お客様

- 従業員の私的利用を防ぎたいお客様
- 必要最低限の機能制限をしたいお客様
- EMMの導入が困難なお客様

# 設定可能な機能制限



# 設定可能なポリシー一覧

※ポリシーとは、機能制限の一連の設定のことです。

Wi-Fi	Wi-Fiを無効化します。
	Wi-Fiテザリングを無効化します。
Bluetooth	Bluetoothを無効化します。
	Bluetoothテザリングを無効化します。
端末	SMSを無効化します。
	ソフトウェアアップデートを無効化します。 * ソフトウェアアップデートを無効化すると、セキュリティパッチ等が利用できなくなります。 また、ソフトウェアアップデートを無効化にしているにもかかわらず、故障した端末を修理し返却された際には、ソフトウェアアップデートが実施されている場合がございます。
	提供元不明アプリを不認可にします。
	USBテザリングを無効化します。
	USB MTPを無効化します。
	SDカードの使用を制限します。
電話	モバイルネットワーク（音声ローミング/データローミング/モバイルデータ）を無効化します。
	電話帳の編集を無効にします。
	着信を制限することができます。電話帳の登録番号もしくはホワイトリストの登録番号からの着信を許可することも可能です。 * 通常、端末を再起動した後は、ロック画面でパスワードやロックNo.を入力してロックを解除するまで、ほとんどのアプリやデータにはアクセスできません。この状態では本機能制限が正しく動作しないケースもございます（例：特定の電話番号のみを着信する機能制限をしても、一律で着信拒否する等）。
	発信を制限することができます。電話帳の登録番号もしくはホワイトリストの登録番号への発信を許可することも可能です。
アプリ	アプリの起動を制限します。制限対象のアプリはリストで管理できます。（次ページで制限可能なアプリ一覧を記載）
リセット	データの初期化を無効にします。
位置情報	位置情報の設定を <b>有効化</b> し、高精細モードに固定します。 * 高精細モードとはGPS、Wi-Fi、Bluetooth、モバイルネットワークで現在値を特定する位置情報モードです。

# 起動制限可能なアプリ一覧

FMラジオ * DIGNOケータイ カメラレス KY-43Cは非搭載	ドコモメール
PCメール	ドコモ位置情報
SMS	ドコモ留守電
Web	ドコモ電話帳
iチャネル	取扱説明書
あんしんスキャン	天気アプリ
あんしんナンバーチェック	時計
あんしんフィルター	機能制限ツール
あんしんマネージャー	漢字チェック
カメラ * DIGNOケータイ カメラレス KY-43Cは非搭載	設定
スケジュール&メモ	電卓
ダイヤラ	音声レコーダー
データスイッチ	+メッセージ
データフォルダ	

# ご利用方法



# 従業員端末への機能制限設定までの流れ

## 1. 事前設定(P.10~13)

- ① Device Control アプリを有効化し、利用できるようにする。  
※この処理は**初期状態からのみ実施可能**です。  
利用開始済み端末に設定する場合、「**初期状態へのリセット**」が必要となります。
- ② Device Control アプリをカスタマイズキーに設定する。
- ③ Device Control アプリへサインインする。

ポイント

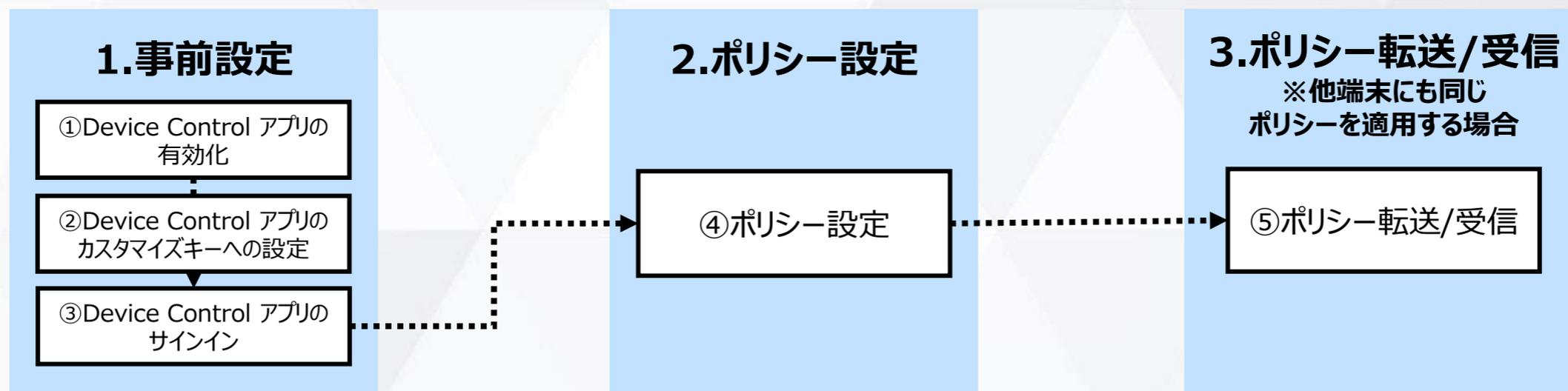
ポリシーとは、機能制限の一連の設定のことです。

## 2. ポリシーの設定(P.15~17)

- ④ ポリシーを設定し、機能制限を完了する。

## 3. ポリシーの転送、受信(P.18~19) ※他端末にも同じポリシーを適用する場合

- ⑤ 他の端末に、ポリシーの転送、受信を行う。(一度にポリシー転送/受信できるのは、1台のみです。)



### 【注意事項】

- 「機能制限ツール」とDevice Controlアプリを同時に利用することはできません。  
※「機能制限ツール」については、ドコモのホームページ掲載の本製品紹介サイトをご覧ください。
- 端末機能の「機能別ロック」とDevice Controlアプリは同時に使用しないようご注意ください。  
「機能別ロック」を使用中に、Device Control アプリで「設定」アプリを起動制限すると、動作が不安定になる場合がございます。  
※「機能別ロック」については、ドコモのホームページ掲載の本製品 取扱説明書 (PDFファイル) をご覧ください。
- 機能制限をご利用される場合、Device Control アプリのサインインパスワードは初期値から変更されることをおすすめします。  
(P.20)サインインパスワードの変更
- 端末に設定されたポリシーは、ステータスから確認できます。  
(P.21)ステータスの確認方法

# 1. 事前設定 Device Control アプリの有効化（初期状態の場合）

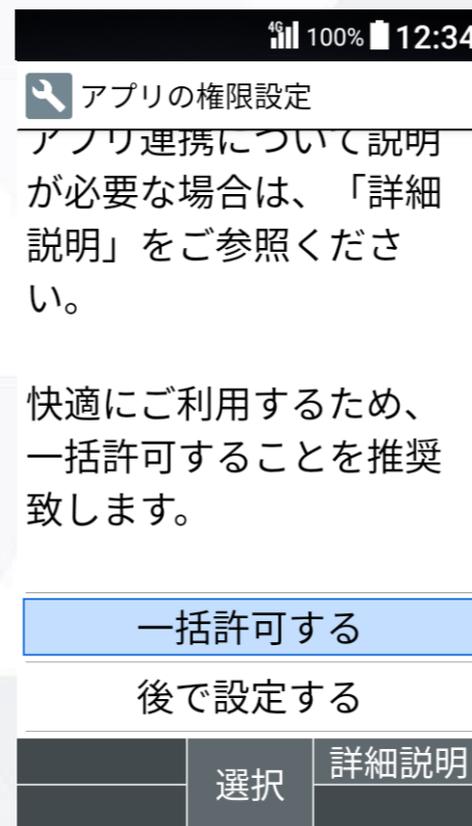
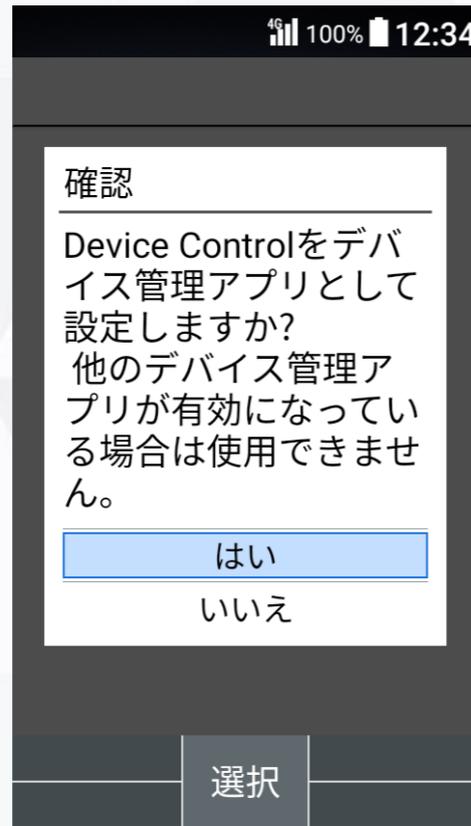
初めて、Device Control アプリをご利用いただく際には有効化の設定が必要です。  
（ポリシーを他端末に転送される場合、送信側端末に加え、受信側端末でも本有効化が必要です。）

※既にDevice Control アプリをご利用の場合は、本操作は不要です。

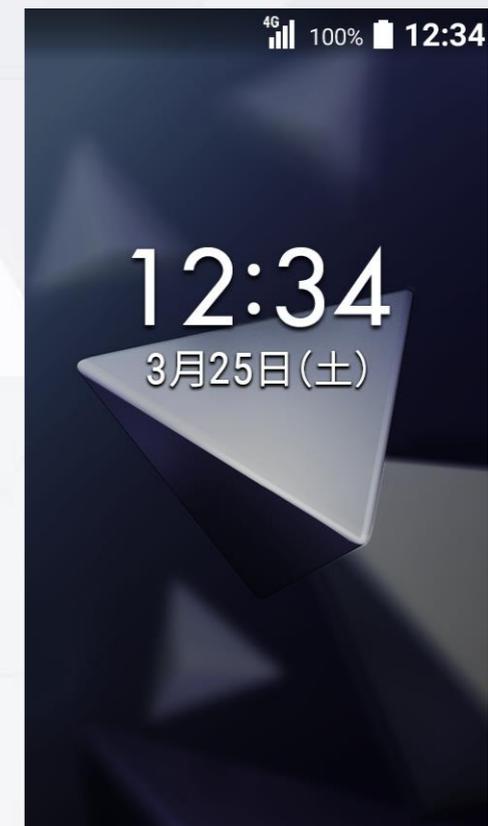
ご注意

**有効化には「初期状態にリセット」が必要で、端末内のすべてのデータが消去されます。  
そのため、初期設定を行う前や従業員への端末配布前に、有効化を完了することをおすすめします。**

初めてDIGNOケータイ KY42C  
/KY-43Cの電源を入れたとき、  
または初期状態にリセットしたとき



以降は画面表示に沿って、端末の初期設定を行ってください



P.12へDCアプリをカスタマイズキーに設定



**1** 「\*#\*#\*#」をコマンド入力

**2** 「はい」を選択

**3** 「一括許可する」または「後で設定する」を選択

**4** 端末の初期設定完了後、待受画面が表示されます

# 1. 事前設定 Device Control アプリの有効化（既にご利用中の場合）

初めて、Device Control アプリをご利用いただく際には有効化の設定が必要です。  
（ポリシーを他端末に転送される場合、送信側端末に加え、受信側端末でも本有効化が必要です。）

※既にDevice Control アプリをご利用の場合は、本操作は不要です。

ご注意

有効化には「初期状態にリセット」が必要で、端末内のすべてのデータが消去されます。  
そのため、初期設定を行う前や従業員への端末配布前に、有効化を完了することをおすすめします。

## 既にご利用中の端末から有効化する場合

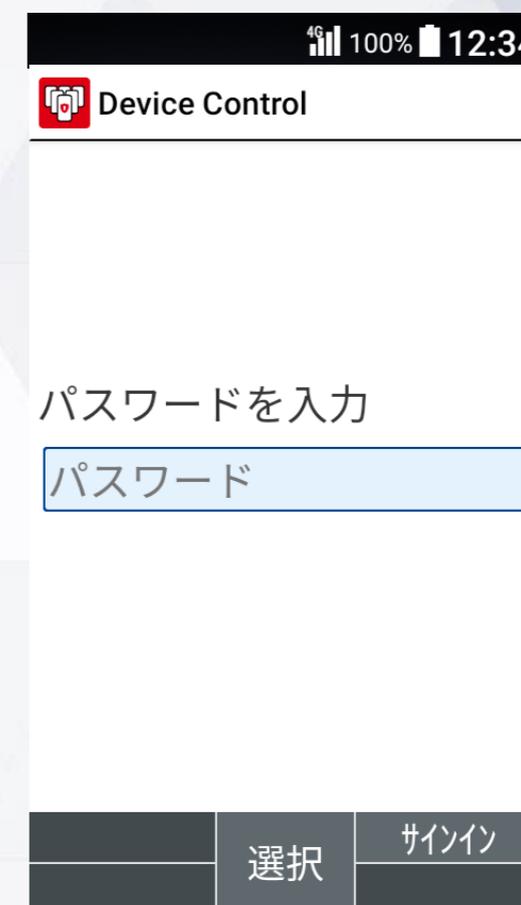
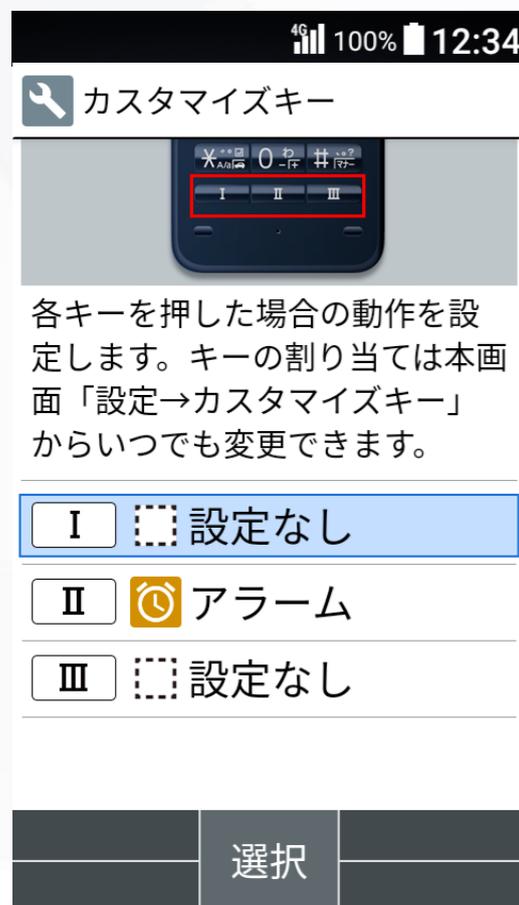


# 1. 事前設定 Device Control アプリをカスタマイズキーに設定

Device Control アプリを起動するには、カスタマイズキーにDevice Control アプリを設定する必要があります。

※ポリシー設定後は、カスタマイズキーからDevice Control アプリを外しても、機能制限は継続されます。

ただし、ポリシー変更やパスワード変更などで、Device Control アプリを改めて起動するには、Device Control アプリのカスタマイズキーへの再設定が必要です。



P.13へ  
DCアプリへの  
サインイン



**1** 「設定」→「カスタマイズキー」→「登録するキー I ~ III」を選択

**2** 「Device Control」を選択

**3** カスタマイズキーへの登録完了

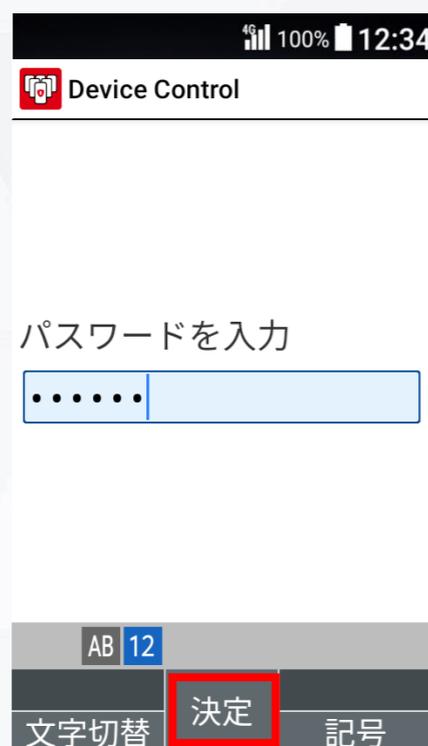
**4** Device Controlを登録したカスタマイズキー「I ~ III」を押下し、Device Control アプリが起動

# 1. 事前設定 Device Control アプリへのサインイン

Device Control アプリへサインインするには、パスワードを入力する必要があります。

## ご注意

従業員が設定変更しないよう、端末管理者にてパスワードを変更、管理することをおすすめします。パスワードを忘れた場合には、Device Controlアプリにサインインできなくなりますので、**厳重な管理**をお願いします。万が一、パスワードをお忘れになり、改めてDevice Controlアプリにサインインするためには、**端末の初期化（リセット）**を行い、Device Controlアプリのパスワードを初期値の「000000」に戻す必要があります。また、ポリシーで「リセットを無効化している」場合には、**端末の初期化（リセット）**ができませんので、「ドコモビジネスコンタクトセンター」までお問い合わせください。



P.15へ  
ポリシーの  
設定



**1** サインインするパスワードを入力し、「決定」を選択  
**初期設定は000000**

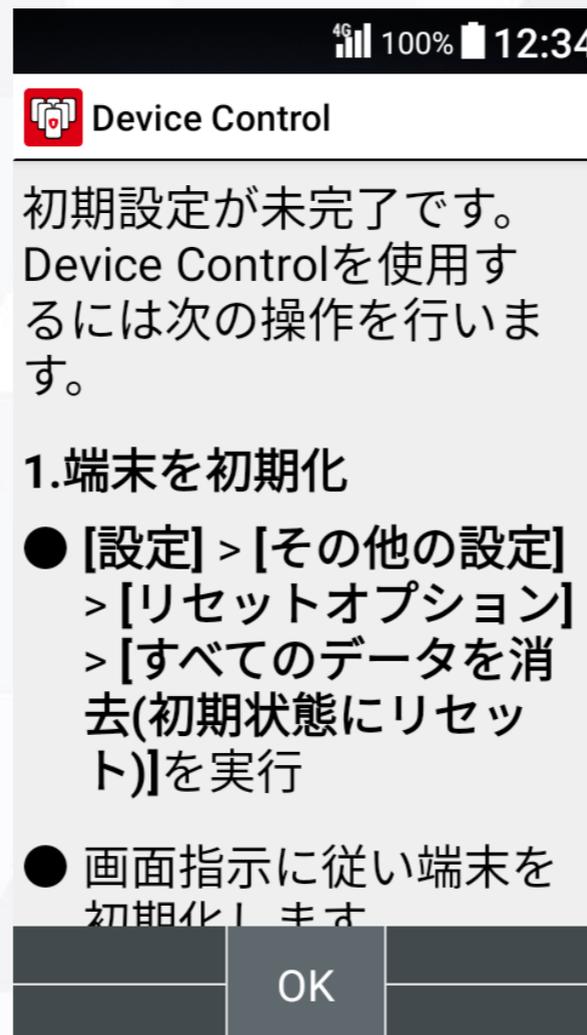
**2** 「サインイン」を選択

**3** サインインが完了し、Device Control アプリをご利用になれます

## (補足) Device Control アプリが有効化されていない場合

Device Control アプリが有効化されていない場合、Device Control アプリを起動すると、Device Control アプリ有効化の手順が表示されますので、P.10またはP.11の手順に沿ってDevice Control アプリを有効化してください。

有効化されていない状態で  
Device Controlアプリを起動すると、  
有効化の手順が画面に表示されます



## 2. ポリシーの設定（一般的な手順）

Bluetoothと+メッセージ(SMS)の無効化の機能制限を行う場合を例に、一般的なポリシー設定の手順をご説明します。



1

Device Control アプリへサインインすると、メインメニューが表示されます

2

「Bluetooth」→  
「Bluetoothの無効化」  
→「On」を選択  
  
「すべてのBluetooth機能を無効にします」と表示されます

3

Device Control アプリのメインメニューから設定する項目を選択します

4

「端末」→「端末機能の制限」→「SMSの無効化」→「On」を選択  
  
「SMSを無効にします」と表示されます  
  
**ポリシーの設定を完了する場合、「完了」を選択します**

5

実行するポリシー一覧が表示されます  
  
確認後、「はい」を選択

6

ポリシーの設定が完了  
  
設定完了後、待ち受け画面に戻ります

## 2. ポリシーの設定（着信制限、発信制限）

着信制限、発信制限のポリシー設定の手順をご説明します。  
着信制限、発信制限ともに手順は同様ですので、着信制限を例にご説明します。

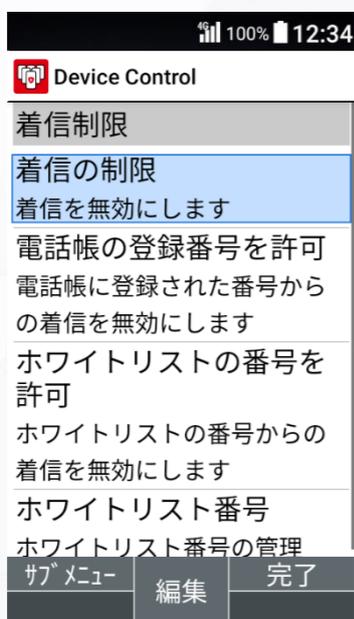
電話帳登録された番号からの  
着信を許可する場合（ホワイトリスト番号の編集方法はP14を参照）

ホワイトリスト番号からの  
着信を許可する場合



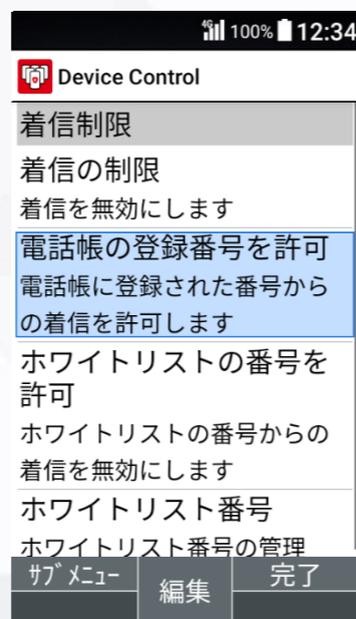
1

Device Controlアプリへサインインすると、メインメニューが表示されます



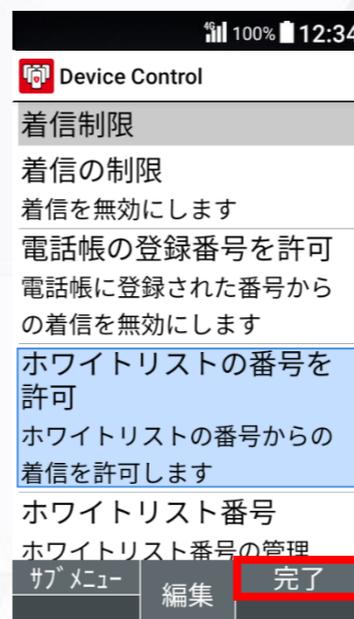
2

「電話」→「着信制限」→「着信の制限」→「On」を選択  
「着信を無効にします」と表示されます



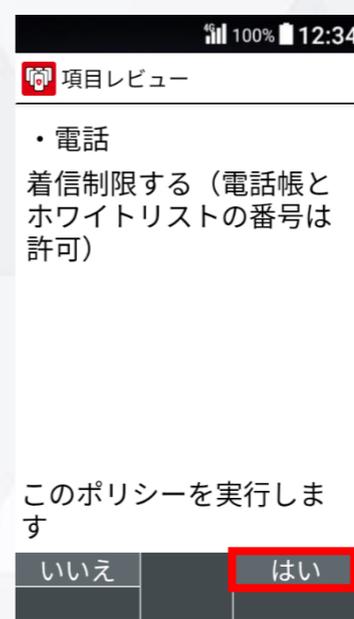
3

「電話帳の登録番号を許可」→「On」を選択  
「電話帳に登録された番号からの着信を許可します」と表示されます



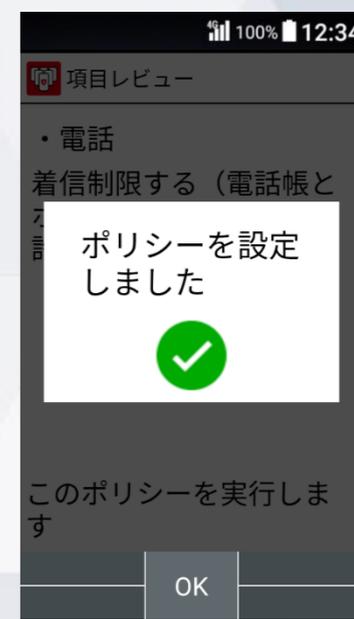
4

「ホワイトリストの番号を許可」→「On」を選択  
「ホワイトリストの番号からの着信を許可します」と表示されます



5

実行するポリシー一覧が表示されます  
確認後、「はい」を選択



6

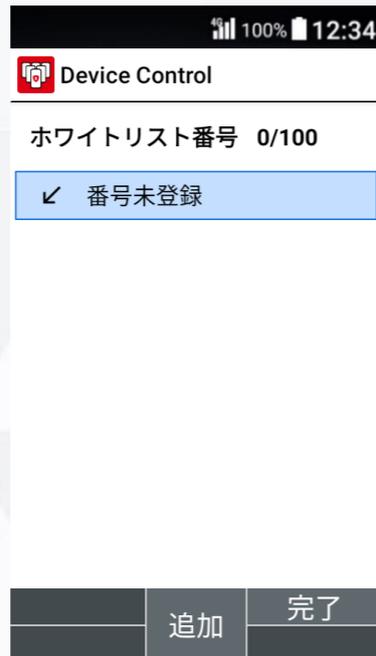
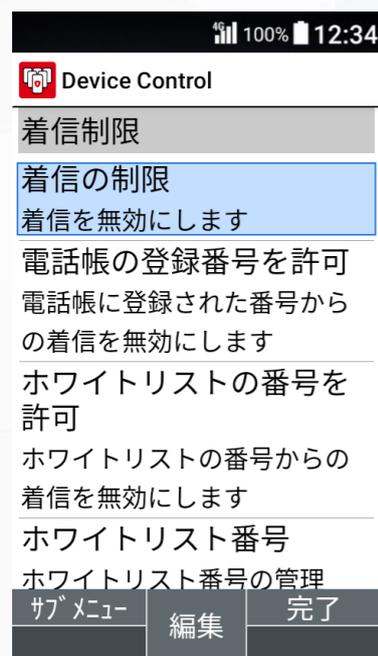
ポリシーの設定が完了  
設定完了後、待ち受け画面に戻ります

P.18へ  
ポリシーの送信  
(他端末へポリ  
シーを送信する  
場合)

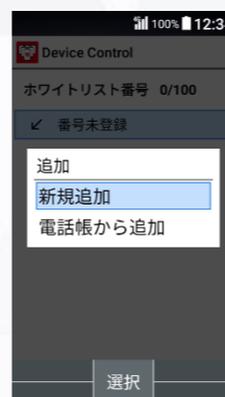
**ポリシーの設定を完了  
する場合、「完了」を選  
択します**

## 2. ポリシーの設定（ホワイトリスト番号の編集方法）

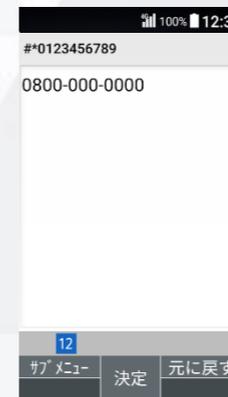
着信制限、発信制限時のホワイトリスト番号の編集方法をご説明します。  
ホワイトリストに番号を登録すると、登録されたホワイトリスト番号からの着信、発信を許可することができます。



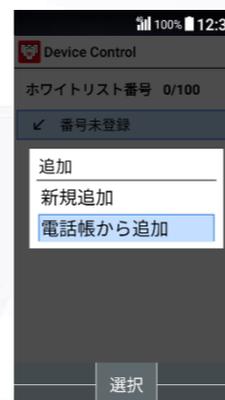
### ホワイトリスト番号を新規に登録する場合



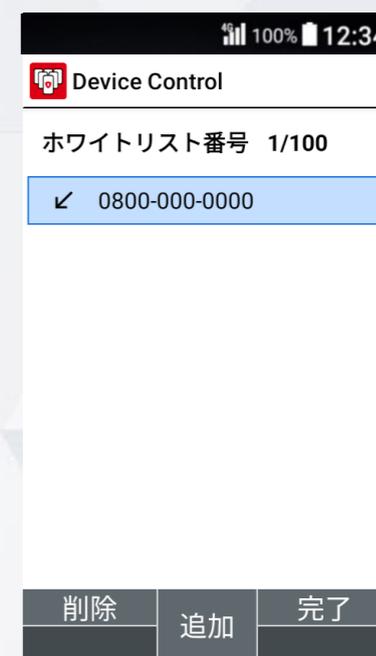
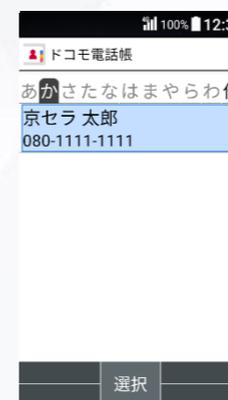
「新規追加」を選択



### ホワイトリスト番号を電話帳から追加する場合



「電話帳から追加」を選択



1

「電話」→「着信制限」→  
「着信の制限」→「On」を  
選択

「着信を無効にします」と  
表示されます

2

「ホワイトリスト番号」→  
「番号未登録」を選択

3

ホワイトリストに登録し  
たい電話番号を入力  
し、「決定」を選択

4

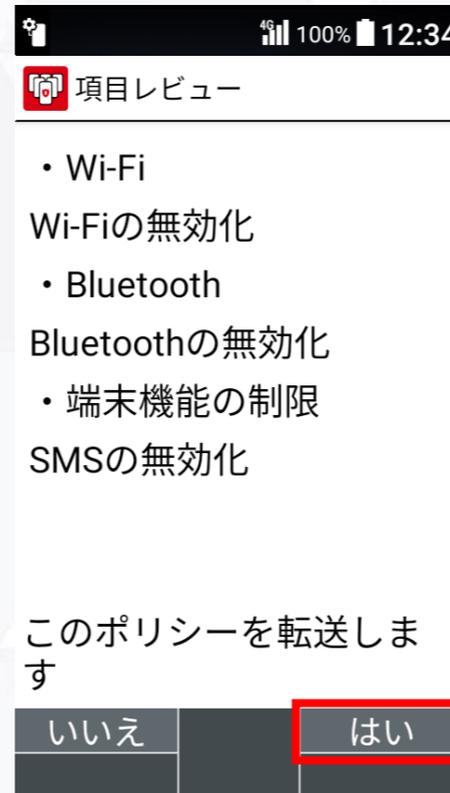
5

さらに電話番号を追加す  
る場合、「追加」を選択  
し、3.4.と同様の手順で  
電話番号を追加します  
以上でホワイトリスト番号  
の編集は完了です

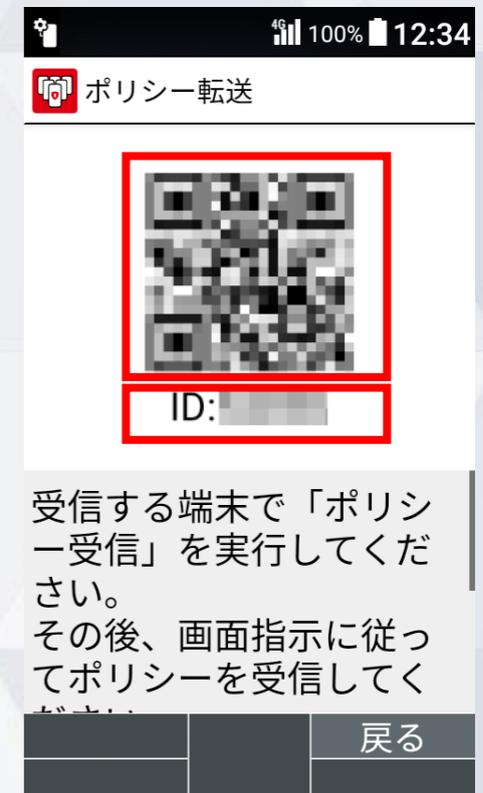
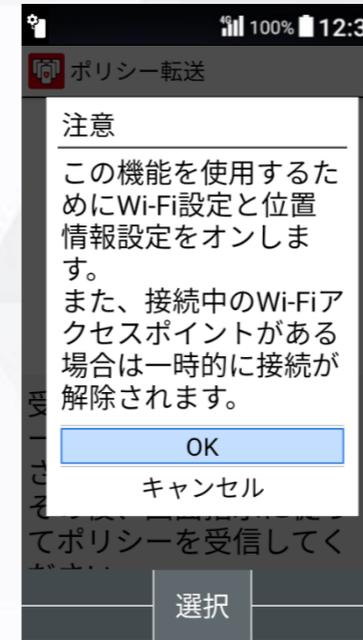
# 3. ポリシーの転送、受信（送信側端末）

設定したポリシーを他の端末に転送するには、送信側の端末にQRコード/ID番号の表示が必要です。

## 送信側端末の手順



Wi-Fiや位置情報がOFFの場合も  
ポリシー転送のため、一時的にONになります



P.19へ  
ポリシーの  
受信

- 1 Device Controlアプリのメインメニューから「サブメニュー」を選択
- 2 「ポリシー転送」を選択
- 3 「はい」を選択
- 4 「OK」を選択
- 5 転送には、本画面に表示されるQRコードまたはID番号を利用します

# 3. ポリシーの転送、受信（受信側端末）

ポリシーを他の端末から受信するには、QRコードの読み取りまたは、ID番号の入力が必要です。

**※ポリシーの受信側端末でもDevice Control アプリの有効化、サインインが必要です。**

## 受信側端末の手順

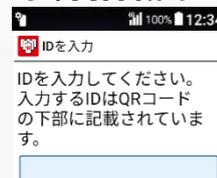
受信側端末が  
カメラ搭載の場合



ポリシーのQRコードに  
かざしてください。  
[送信側の準備]  
メニューから「ポリシー  
転送」を実行し、QRコード  
を読み取り

送信側端末に表示の  
QRコードを読み取り

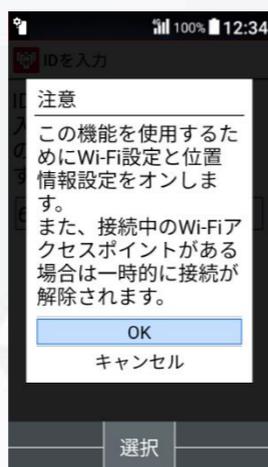
受信側端末が  
カメラ非搭載の場合



IDを入力してください。  
入力するIDはQRコード  
の下部に記載されていま  
す。

送信側端末に表示のID番号  
を入力し、「実行」を選択

Wi-Fiや位置情報がOFFの  
場合、ポリシー転送のため、  
一時的にONになります

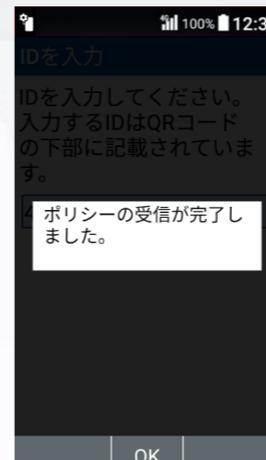
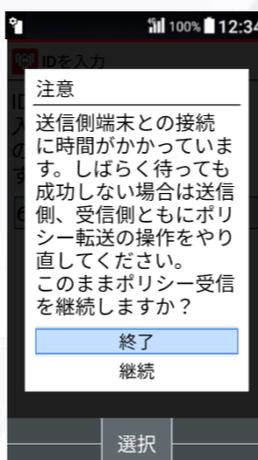
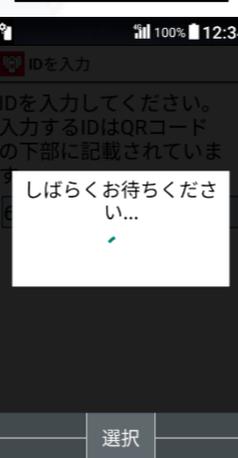


送信側端末

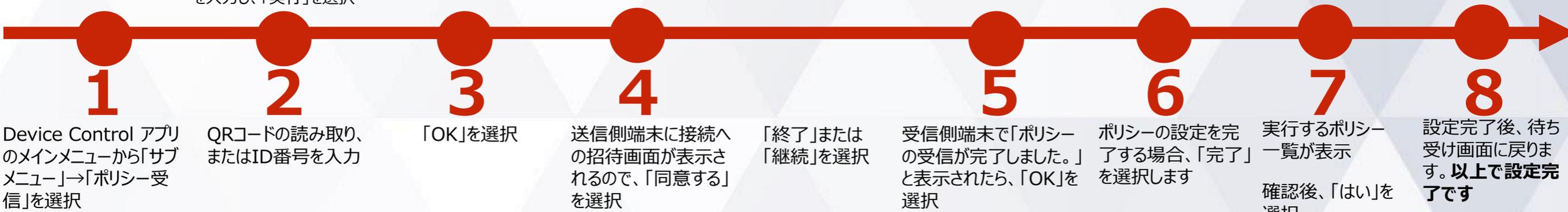


(接続に時間が掛か  
る場合、以下画面が  
表示されます。)  
やり直す場合は、「終  
了」を選択し、P18.  
のポリシー転送から  
やり直してください

受信側端末



機能制限を完了するには、  
ポリシー受信後、受信側端末で  
ポリシー設定が必要です。



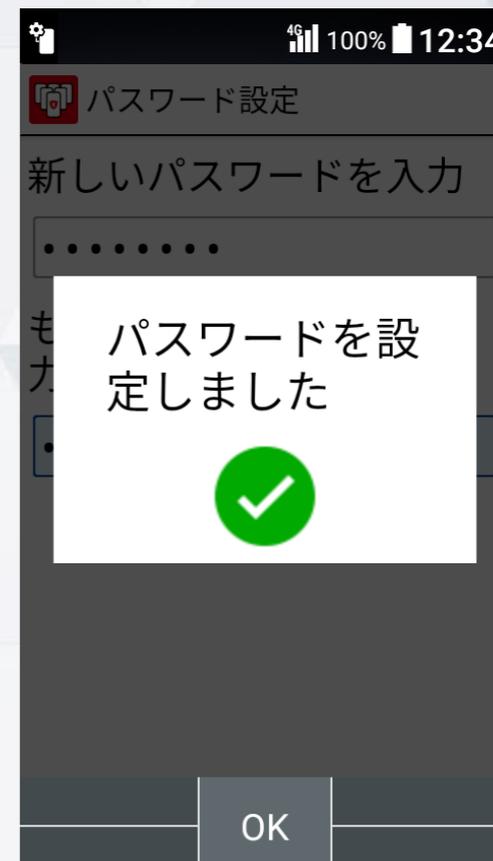
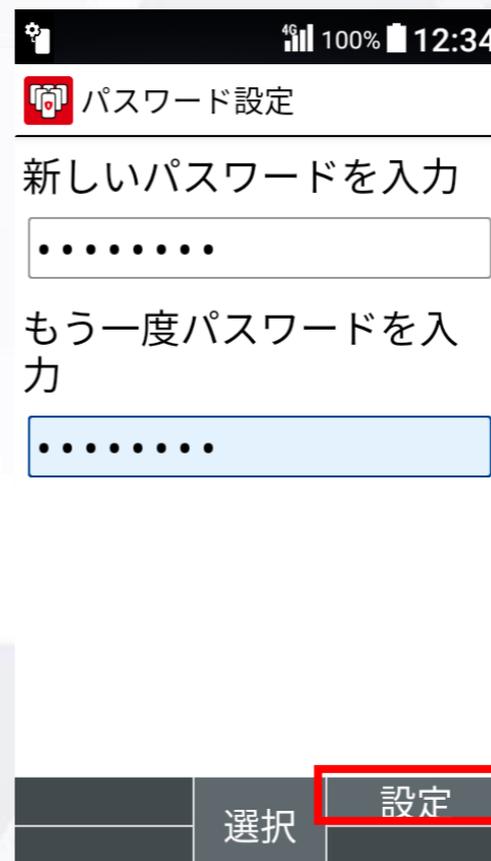
設定完了後、待ち受け画面に戻ります。**以上で設定完了です**

# サインインパスワードの変更

サインインパスワードを変更する手順は以下となります。初期値のパスワードは「**000000**」です。

## ご注意

従業員が設定変更しないよう、端末管理者にてパスワードを変更、管理することをおすすめします。パスワードを忘れた場合には、Device Controlアプリにサインインできなくなりますので、**厳重な管理**をお願いします。万が一、パスワードをお忘れになり、改めてDevice Controlアプリにサインインするためには、**端末の初期化（リセット）**を行い、Device Controlアプリのパスワードを初期値の「000000」に戻す必要があります。また、ポリシーで「リセットを無効化している」場合には、**端末の初期化（リセット）**ができませんので、「ドコモビジネスコンタクトセンター」までお問い合わせください。



**1** Device Control アプリのメインメニューから「サブメニュー」を選択

**2** 「パスワード設定」を選択

**3** 新しいパスワードを2回入力し、「設定」を選択

**4** 「OK」を選択  
パスワードが変更されました

# ステータスの確認方法

現在端末に設定されているポリシーをご確認頂けます。



**1** Device Control アプリのメインメニューから「サブメニュー」を選択

**2** 「ステータス」を選択

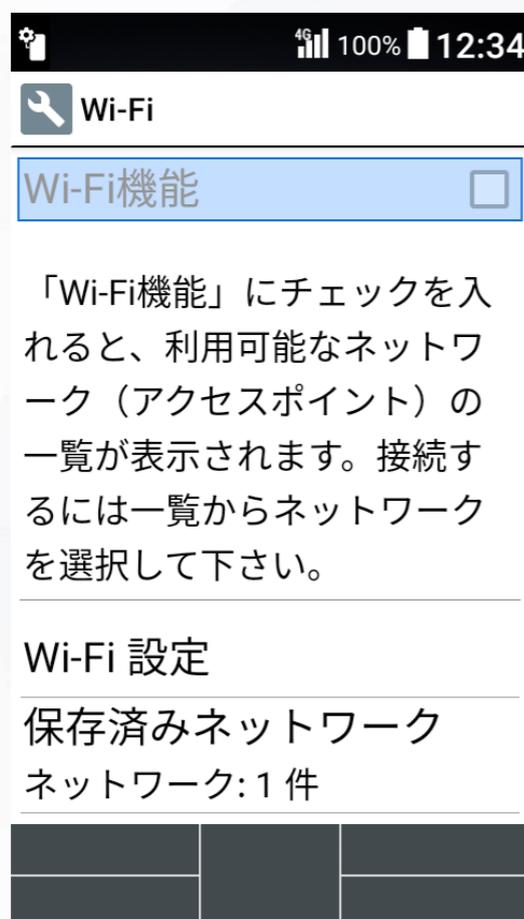
**3** 現在、端末に設定のポリシー一覧が表示されます  
「OK」を選択

# 機能制限中の端末動作

# 端末の機能制限中の動作

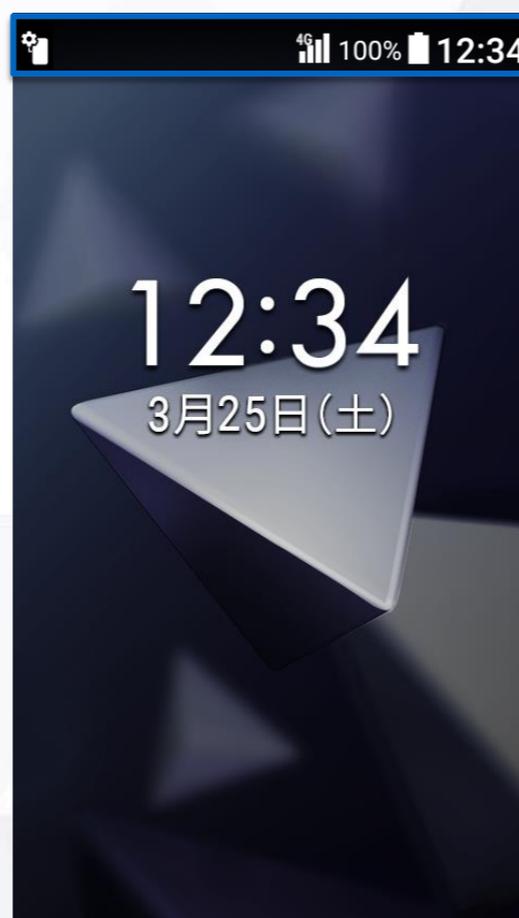
Wi-Fi機能が制限されている場合を例に、機能制限中の端末動作をご説明します。

機能制限中は、Wi-FiをONに変更することができません。

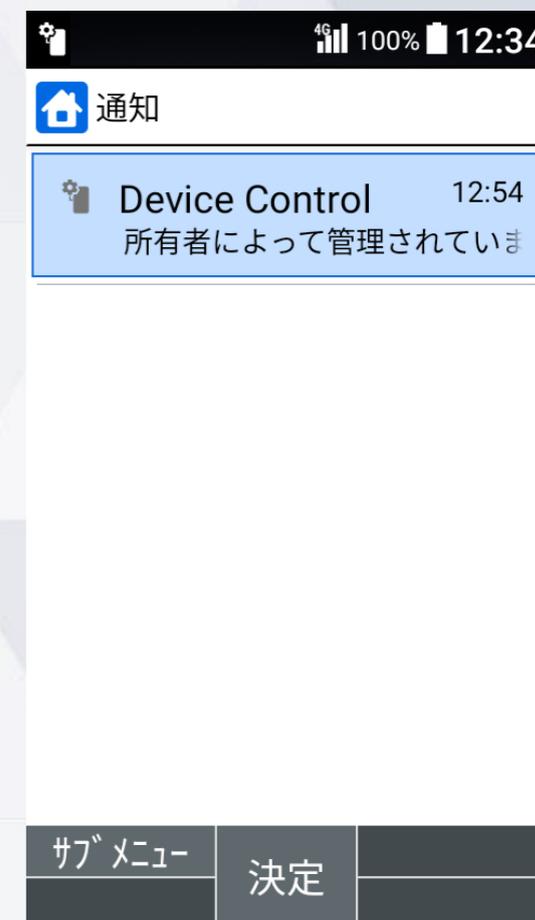


「設定」→「無線・ネットワーク」→「Wi-Fi」を選択

機能制限中は通知バーに  アイコンが表示されます。



待受け画面から「▽キー」押下し通知バーを選択



# アプリの起動制限中の動作

「設定」の起動が制限されている場合を例に、アプリの起動制限中の端末動作をご説明します。

起動制限中は、「設定」を起動することができません。



メインメニューから「設定」を選択。  
確認後、「OK」を選択し、  
閉じてください

機能制限中は通知バーに  アイコンが表示されます。



待受け画面から「▽キー」押下し通知バーを選択



# 注意事項・ FAQ(よくあるご質問)

# 注意事項

1. Device Control アプリの有効化には、「初期状態にリセット」が必要で、端末内のすべてのデータが消去されます。そのため、従業員への端末配布前に、有効化を完了することをおすすめします。
2. 従業員が設定変更しないよう、端末管理者にてパスワードを変更、管理することをおすすめします。パスワードを忘れた場合には、Device Controlアプリにサインインできなくなりますので、厳重な管理をお願いします。万が一、パスワードをお忘れになり、改めてDevice Controlアプリにサインインするためには、端末の初期化（リセット）を行い、Device Controlアプリのパスワードを初期値の「000000」に戻す必要があります。また、ポリシーで「リセットを無効化している」場合には、端末の初期化（リセット）ができませんので、「ドコモビジネスコンタクトセンター」までお問い合わせください。
3. 「機能制限ツール」とDevice Controlアプリを同時に利用することはできません。
4. 端末機能の「機能別ロック」とDevice Controlアプリは同時に使用しないようご注意ください。「機能別ロック」を使用中に、Device Controlアプリで「設定」アプリを起動制限すると、動作が不安定になる場合がございます。
5. 発信制限を行った場合、110などの緊急発信は制限されませんが、留守番電話などのネットワークサービスへの発信については制限されます。

# FAQ（よくあるご質問）

**Q : Device Control アプリにサインインするパスワードを忘れても、Device Control アプリで設定された機能制限は継続できますか？また、どのようにすればDevice Control アプリにサインインすることができますか？**

**⇒A : Device Control アプリで設定された機能制限は継続されます。**

ただし、Device Control アプリに再度サインインするためには、端末の初期化を行い、パスワードの初期値を「000000」にする必要があります。端末の初期化を行うと、端末内の全てのデータが初期化され、Device Control アプリの機能制限もすべて解除されますので、ご注意ください。

また、ポリシーでリセットを無効化している場合は、端末の初期化（リセット）ができませんので、「ドコモビジネスコンタクトセンター」までお問い合わせください。

**Q : ポリシーは1台の端末から複数の端末に同時に転送、受信が可能ですか？**

**⇒A : 複数の端末へ同時に転送、受信はできません。ポリシーは1台の端末から、1台の端末への転送、受信のみ可能です。**

**Q : 初期化したら、機能制限は解除されますか？**

**⇒A : はい。Device Control アプリのすべての機能制限が解除されます。**

**Q : Device Control アプリにサインインするパスワードを、他端末に転送することはできますでしょうか？**

**⇒A : できません。**

**Q : 端末に一度設定したポリシーを変更したい場合は、どうすればよいでしょうか。**

**⇒A : Device Control アプリにサインインし、改めてポリシーの変更、設定の完了を行ってください。**

**Q : SIMカードを入れなくても、Device Control アプリによる機能制限の設定はできますか？**

**⇒A : はい。できます。**

# FAQ（よくあるご質問）

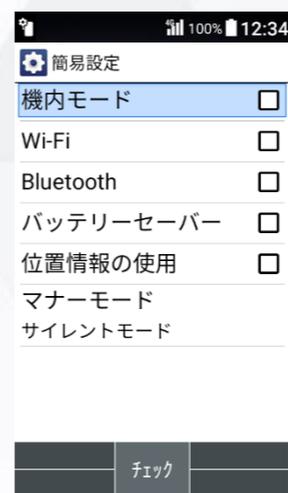
**Q：セーフモードを起動すると、自動的に機内モードがONになりますが、Device Control アプリで、「設定」アプリを制限中の場合、機内モードをOFFにすることができません。どのようにすれば、機内モードをOFFにすることができますか？**

**⇒A：待ち受け画面で、カスタマイズキー [Ⅲ] を長押しすることにより、簡易設定を起動することができます。本簡易設定画面から、機内モードをOFFにすることができます。**



待受け画面で  
「Ⅲキー」を長押し

簡易設定が起動



機内モードを選択し  
チェックを外す

**ご利用に関する  
お問い合わせ**

# お問い合わせについて

Device Control アプリのご利用に関して、不明点がございましたら、以下、京セラのホームページの「お問い合わせフォーム」からお問い合わせください。

<https://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/office/phone/inquiry/dcapp-ky-43c.html>

ポリシーでリセットを無効化している場合の、端末の初期化（リセット）に関するお問い合わせは、以下、「ドコモビジネスコンタクトセンター」までお問い合わせください。

## ■ 0120-003300

[受付時間] 午前9:00～午後5:00（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）

※携帯電話からもご利用になれます。海外からはご利用になれません。

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

# 商標について

## 商標について

- ・「DIGNO」は、京セラ株式会社の登録商標です。
- ・「Bluetooth」は、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標であり、京セラ株式会社はライセンスに基づいて使用しています。
- ・「Wi-Fi」はWi-Fi Allianceの登録商標です。
- ・「microSD」はSD-3C,LLCの商標です。
- ・文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnn IMEを使用しています。  
iWnn IME©OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2025 All Rights Reserved.
- ・その他、本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。  
なお、本文中では、TM、®マークは表記していません。

◎製品仕様およびサービス内容は、予告なく変更することがあります。

◎掲載中の製品画像はすべてイメージです。さらに画面はハメコミ合成です。

※本マニュアルについては、無断で複製、転載することを禁じます。

© 2025 KYOCERA Corporation

2023年3月10日 第1.0版発行

2025年2月10日 第1.1版発行

P.6 電話の着信制限に関する注釈を追記